

「令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

調査結果のポイントについて

～北海道（公立）における調査結果～

【概要版】

北海道教育委員会

令和5年（2023年）12月22日

【 目 次 】

1	調査の概要	1
2	結果の概要	
(1)	実技に関する調査	
	・小学校男子 / 小学校女子	2
	・中学校男子 / 中学校女子	3
(2)	体格と肥満度に関する調査	4
(3)	児童生徒質問紙調査	4
(4)	学校質問紙調査	6

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査の対象及び調査内容

	調査対象	調査内容
児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員 ・中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様） 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は20mシャトルランに替えて持久走も可）、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ） ・質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問紙調査（児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る学校の取組等）

(3) 調査の方法

悉皆調査

(4) 調査の実施期間

令和5年（2023年）4月から令和5年（2023年）7月末までの期間で実施

(5) 実施学校数・児童生徒数（札幌市を含む公立学校）

北海道	実施校数（校）	児童生徒数（人）	全国	実施校数（校）	児童生徒数（人）
小学校	963	36,976	小学校	18,693	977,758
中学校	597	34,605	中学校	9,426	867,847
合 計	1,560	71,581	合 計	28,119	1,845,605

【用語説明】

用 語	解 説
体力合計点	種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な10点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8種目の結果を合計した得点（80点満点）
T得点	全国平均値に対する相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較（全国平均を50とした時の数値）
総合評価	体力合計点の高い順にA～Eの5段階で評価

【留意事項】

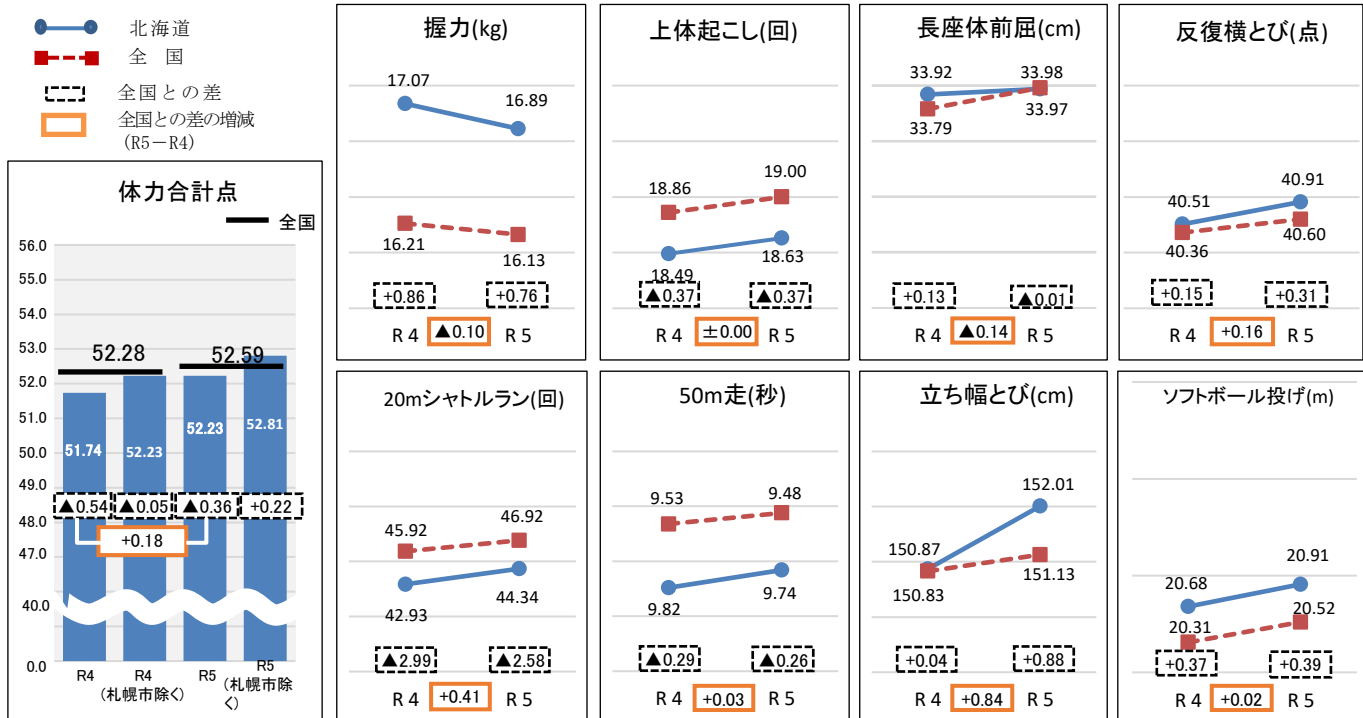
- 本資料において、北海道及び全国の状況は、いずれも公立学校について示したもの
- 国における実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査に当たっては、性別不明など一部のデータは集計・分析の対象外
- 児童生徒質問紙と学校質問紙調査のレーダーチャートは、全国の割合を100とした場合の北海道の値（チャート指数：北海道の割合÷全国の割合×100）で表示
- 本調査結果は、児童生徒の体力・運動能力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと

2 結果の概要 (～P7)

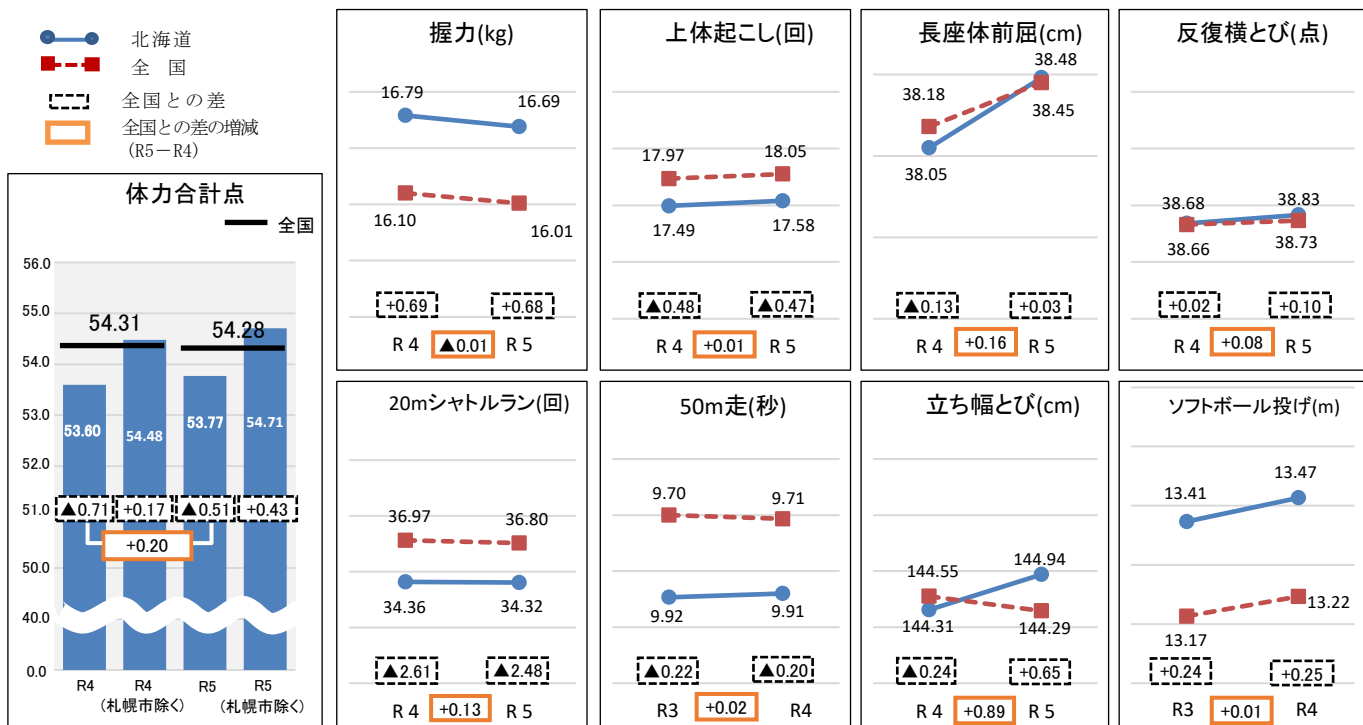
(1)実技に関する調査

- 令和4年度結果と比較した体力合計点
 - ・小・中学校男女ともに、体力合計点が上昇している。
 - ・小・中学校男女ともに、全国との差が縮まっているが、いずれも全国平均を下回っている。
- 令和4年度結果と比較して記録が上昇した種目
 - ・小学校男子（7種目）：「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
 - ・小学校女子（6種目）：「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
 - ・中学校男子（6種目）：「長座体前屈」「持久走」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」
 - ・中学校女子（6種目）：「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」
- 令和5年度の全国平均を上回った種目
 - ・小学校男子（4種目）：「握力」「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
 - ・小学校女子（5種目）：「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
 - ・中学校男子（1種目）：「握力」 ・中学校女子：なし

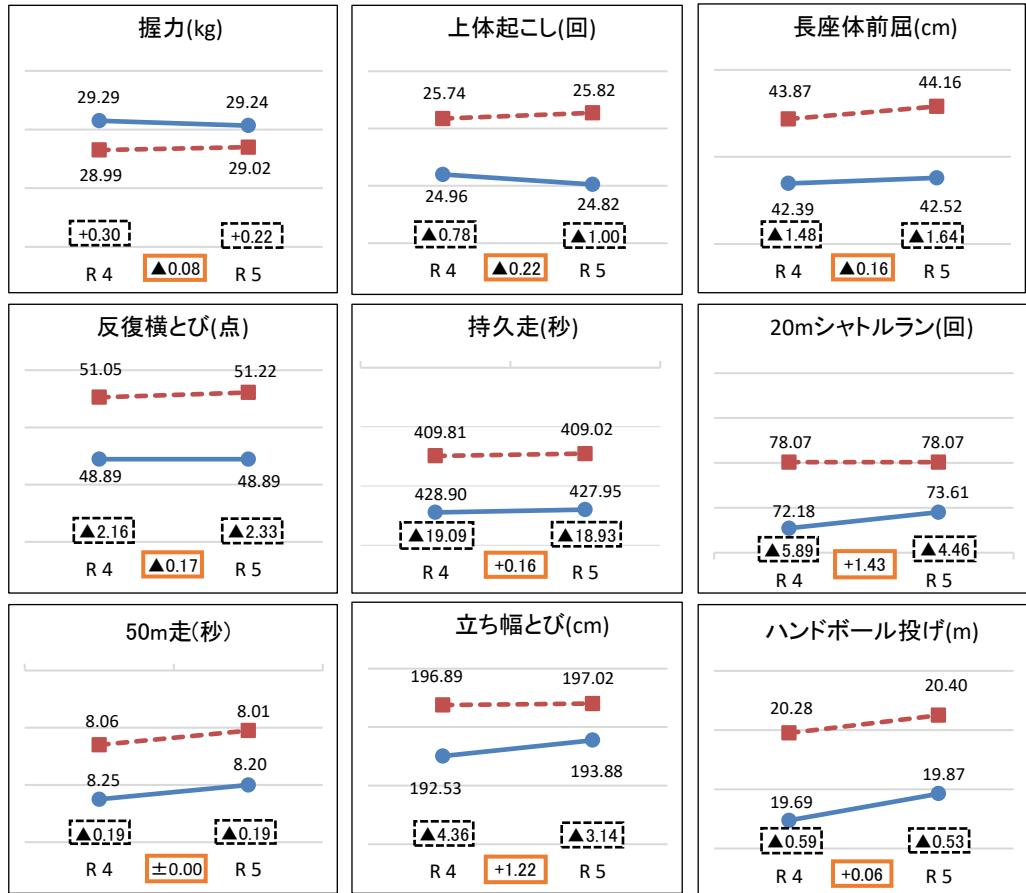
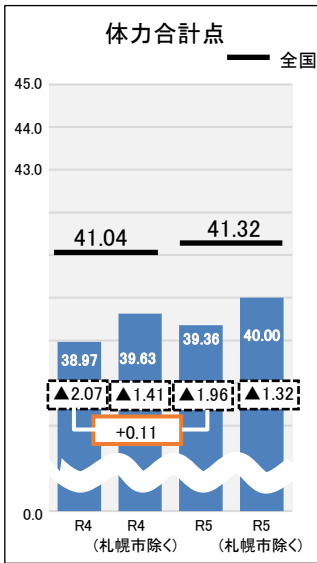
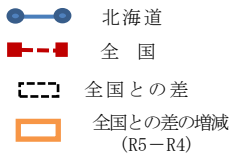
①小学校男子



②小学校女子

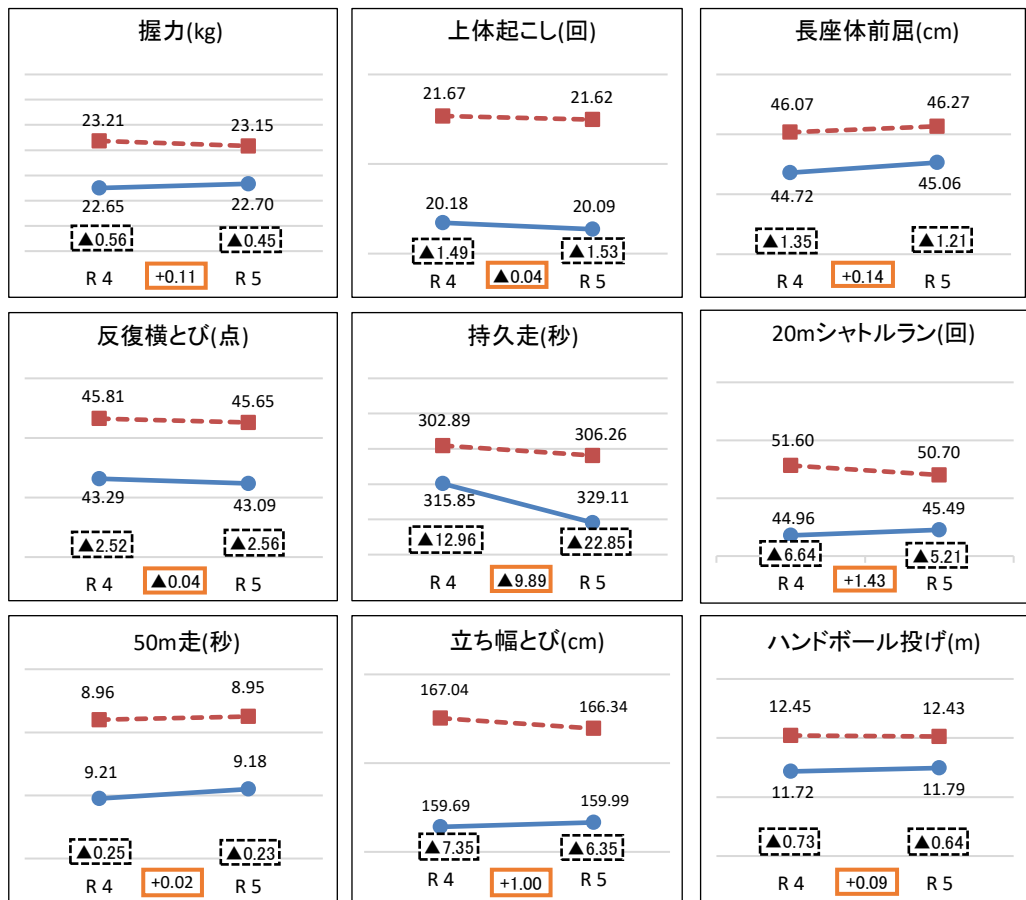
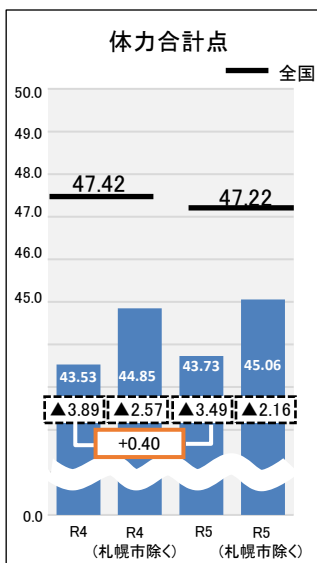
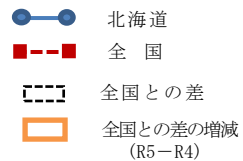


③ 中学校男子



※中学校では、持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施

④ 中学校女子



※中学校では、持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施

(2) 体格と肥満度に関する調査

※ () は全国との差

① 小学校

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
		肥満	正常	痩身
R 5全 国	男子	13.7	83.5	2.8
R 5北海道	男子	18.9(+5.2)	78.3 (▲5.2)	2.7(▲0.1)
R 5全 国	女子	9.8	87.4	2.9
R 5北海道	女子	12.5(+2.7)	84.0 (▲3.4)	3.5 (+0.6)

② 中学校

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
		肥満	正常	痩身
R 5全 国	男子	10.6	86.2	3.2
R 5北海道	男子	13.3(+2.7)	83.0 (▲3.2)	3.7 (+0.5)
R 5全 国	女子	7.0	88.9	4.0
R 5北海道	女子	7.9 (+0.9)	87.7 (▲1.2)	4.4 (+0.4)

(3) 児童生徒質問紙調査

※ () は全国との差

① 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5全 国	72.1	54.5	63.4	43.1
R 5北海道	74.2 (+2.1)	56.3 (+1.8)	67.2 (+3.8)	44.9 (+1.8)
R 4北海道	72.7 (+2.9)	57.9 (+3.0)	65.5 (+3.4)	46.2 (+2.0)
R4北海道からの増減	+1.5	▲1.6	+1.7	▲1.3

② 「運動やスポーツは大切」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5全 国	71.2	59.3	66.6	49.0
R 5北海道	74.9 (+3.7)	63.6 (+4.3)	68.6 (+2.0)	49.7 (+0.7)
R 4北海道	72.8 (+4.1)	64.0 (+4.8)	67.4 (+1.3)	50.8 (+0.1)
R4北海道からの増減	+2.1	▲0.4	+1.2	▲1.1

③ 「中学校に進んだら(中学校を卒業した後)、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5全 国	66.0	54.0	59.8	41.9
R 5北海道	68.2 (+2.2)	55.6 (+1.6)	61.6 (+1.8)	42.5 (+0.6)
R 4北海道	65.5 (+2.3)	57.5 (+2.7)	57.9 (+1.4)	41.3 (▲0.4)
R4北海道からの増減	+2.7	▲1.9	+3.7	+1.2

④ 「体育(保健体育)授業以外における1週間の総運動時間が60分未満」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女は全国平均より低く、中学校の男女は全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5全 国	9.0	16.3	11.0	24.9
R 5北海道	8.8(▲0.2)	15.1(▲1.2)	15.2 (+4.2)	29.9 (+5.0)
R 4北海道	8.5(▲0.3)	12.9(▲1.7)	10.9 (+2.8)	21.7 (+3.6)
R4北海道からの増減	+0.3	+2.2	+4.3	+8.2

⑤ 「平日に学習以外で画面を見ている時間が1時間未満」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より低い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5全 国	13.7	19.1	5.7	6.9
R 5北海道	11.2 (▲2.5)	15.0 (▲4.1)	4.9 (▲0.8)	5.8 (▲1.1)
R 4北海道	11.3 (▲0.1)	16.6 (▲1.6)	4.6 (▲1.3)	6.5 (▲1.3)
R4北海道からの増減	▲0.1	▲1.6	+0.3	▲0.7

- ⑥ 「体育（保健体育）の授業は楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5 全 国	74.7	59.0	53.6	38.6
R 5 北海道	75.8 (+1.1)	59.4 (+0.4)	54.8 (+1.2)	38.9 (+0.3)
R 4 北海道	74.7 (+1.3)	59.7 (+0.4)	60.9 (+3.7)	42.7 (+0.8)
R4北海道からの増減	+1.1	▲0.3	▲6.1	▲3.8

- ⑦ 体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より低い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5 全 国	35.8	28.4	30.1	24.2
R 5 北海道	34.2 (▲1.6)	25.3 (▲3.1)	26.6 (▲3.5)	21.0 (▲3.2)
R 4 北海道	31.8 (▲0.3)	24.2 (▲1.9)	24.0 (▲2.5)	17.5 (▲3.4)
R4北海道からの増減	+2.4	+1.1	+2.6	+3.5

- ⑧ 体育（保健体育）の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より低い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5 全 国	36.3	35.1	35.6	33.7
R 5 北海道	34.0 (▲2.3)	33.2 (▲1.9)	33.0 (▲2.6)	30.8 (▲2.9)
R 4 北海道	34.9 (▲0.5)	34.3 (▲1.7)	30.7 (▲1.6)	28.1 (▲2.7)
R4北海道からの増減	▲0.9	▲1.1	+2.3	+2.7

- ⑨ 体育（保健体育）の授業で、ICTを使って学習することで、「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女は全国平均より低く、中学校男女は全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5 全 国	20.8	18.5	18.8	14.3
R 5 北海道	20.2 (▲0.6)	18.0 (▲0.5)	19.5 (+0.7)	15.6 (+1.3)
R 4 北海道	14.0 (▲0.9)	11.8 (▲1.0)	12.4 (+0.8)	8.5 (+0.4)
R4北海道からの増減	+6.2	+6.2	+7.1	+7.1

- ⑩ 体育（保健体育）の授業の最後で、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より低い。

【令和5年度新規項目】

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
R 5 全 国	33.2	30.5	30.8	27.6
R 5 北海道	31.0 (▲2.2)	28.8 (▲1.7)	28.6 (▲2.2)	26.0 (▲1.6)

(4) 学校質問紙調査

※ () は全国との差

- ① 児童（生徒）の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定している学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	79.3	71.5
R 5 北海道	93.0 (+13.7)	87.4 (+15.9)
R 4 北海道	94.6 (+14.1)	87.0 (+14.7)
R4北海道からの増減	▲1.6	+0.4

- ② 体育（保健体育）の授業以外で全ての児童（生徒）の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	79.6	43.6
R 5 北海道	91.6 (+12.0)	72.2 (+28.6)
R 4 北海道	90.6 (+13.0)	71.7 (+25.2)
R4北海道からの増減	+1.0	+0.5

- ③ 体力向上や体育（保健体育）の授業に関する校内外の研修や研究会に参加し、自校の運動能力の向上に係る取組に反映させている学校の割合は、小学校は全国平均より低く、中学校は全国平均より高い。 【令和5年度新規項目】

	小学校	中学校
R 5 全 国	74.9	79.2
R 5 北海道	70.8 (▲4.1)	80.3 (+1.1)

- ④ 運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童（生徒）向けの取組、または技能の程度に応じた取組を行っている学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	50.7	66.5
R 5 北海道	70.2 (+19.5)	71.8 (+5.3)
R 4 北海道	63.1 (+11.2)	69.6 (+6.6)
R4北海道からの増減	+7.1	+2.2

- ⑤ 授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童（生徒）に示す活動を取り入れている学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	97.4	98.9
R 5 北海道	99.0 (+1.6)	99.5 (+0.6)
R 4 北海道	98.1 (+0.4)	99.0 (±0.0)
R4北海道からの増減	+0.9	+0.5

- ⑥ 授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れている学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	94.5	97.2
R 5 北海道	97.4 (+2.9)	97.5 (+0.3)
R 4 北海道	96.7 (+2.3)	97.5 (+0.4)
R4北海道からの増減	+0.7	±0.0

- ⑦ 授業で、児童（生徒）同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れている学校の割合は、小学校は全国平均より高く、中学校は全国平均より低い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	98.0	98.1
R 5 北海道	98.1 (+0.1)	97.4 (▲0.7)
R 4 北海道	97.2 (▲0.1)	97.3 (▲0.4)
R4北海道からの増減	+0.9	+0.1

- ⑧ 授業で、全学年において児童（生徒）同士で話し合う活動を取り入れている学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	60.3	88.9
R 5 北海道	75.4 (+15.1)	90.0 (+1.1)
R 4 北海道	69.8 (+10.7)	89.1 (+1.0)
R4北海道からの増減	+5.6	+0.9

- ⑨ 授業で、ICTを週に1時間以上活用している学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	34.9	49.6
R 5 北海道	45.5 (+10.6)	68.3 (+18.7)
R 4 北海道	39.6 (+8.8)	60.2 (+16.2)
R4北海道からの増減	+5.9	+8.1

- ⑩ 健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを適宜伝えている学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
R 5 全 国	92.7	96.9
R 5 北海道	98.5 (+5.8)	97.6 (+0.7)
R 4 北海道	98.9 (+4.0)	98.2 (+0.9)
R4北海道からの増減	▲0.4	▲0.6

- ⑪ 新体力テストを調査対象の学年以外（対象学年の前学年）でも実施している学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均より低い。

	小学校（第4学年）	中学校（第1学年）
R 5 全 国	89.0	95.4
R 5 北海道	84.7 (▲4.3)	90.9 (▲4.5)
R 4 北海道	82.9 (▲3.9)	88.1 (▲6.0)
R4北海道からの増減	+1.8	+2.8